

新青丸 共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KS-23-14 次研究航海
- * 航海名称 (和文) 最先端海洋複合観測で挑むプレート境界浅部の地震テクトニクス
(英文) Seismic Tectonics of Shallow Region at Plate Boundary Challenged by Advanced Combined Oceanographic Observations
- * 観測海域 (和文) 北海道南方沖および三陸沖北部
(英文) Southern Hokkaido-Oki and Northern Sanriku-Oki
- * 航海期間 令和5年8月22日(火)～令和5年8月26日(土)
- * 出港日時・場所 8月22日 14時八戸港
- * 入港日時・場所 8月26日 14時八戸港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 最先端海洋複合観測で挑むプレート境界浅部の地震テクトニクス

- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)

富田 史章・東北大学災害科学国際研究所・助教・fumiaki.tomita.d8@tohoku.ac.jp

- * 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目

1. GNSS-音響結合方式(GNSS-A) 海底地殻変動観測

- ・主調査者: 富田 史章(fumiaki.tomita.d8@tohoku.ac.jp)、木戸 元之(kido@irides.tohoku.ac.jp)
- ・観測項目: 既存のGNSS-A 観測点 G02、G04、及び G25点において、新青丸に装備されている船底トランスデューサを用いた GNSS-A 観測を実施した。また、それぞれの観測点で海中の実音速構造を得るため、XCTD または XBT 観測を実施した。

2. Wave Glider の投入および GNSS-A 観測による海底地殻変動観測

- ・主調査者: 佐藤 大祐(daisukes@jamstec.go.jp)、飯沼 卓史(iinuma@jamstec.go.jp)
- ・観測項目: G04観測点にて、Wave Glider を投入した。投入に際しての目立ったトラブルは無かった。また、G04観測では、Wave Glider と新青丸本船による同時 GNSS-A 観測を約9.5時間実施した。Wave Glider は、陸上からの衛星通信を介した運用により他の GNSS-A 観測点にて観測を実施し、10月上旬を目処に北海道大学の備船により回収される見込みである。

3. マルチビーム測深器による海底地形調査(MBES) および XCTD もしくは XBT 観測

- ・主調査者: 高下 裕章(koge.h@aist.go.jp)、金松 敏也(toshiyak@jamstec.go.jp)

・観測項目:マルチビーム測深器の故障により、予定していた測線(MBES/SBP)での観測を断念した。それに伴い、この観測のためのXCTD/XBT観測も実施していない。

4. サブボトムプロファイラ (SBP) による海底表層構造探査

- ・主調査者:高下 裕章(koge.h@aist.go.jp)、金松 敏也(toshiyak@jamstec.go.jp)
- ・観測項目:SBP1、SBP2、SBP4の各測線にてSBPによる構造探査を実施した。

* 乗船研究者氏名・所属・職名

富田 史章・東北大学災害科学国際研究所・助教
鈴木 秀市・東北大学理学研究科・技術専門職員
木村 洲徳・東北大学理学研究科・技術一般職員
大塚 英人・東北大学理学研究科・大学院生
山田 太介・東北大学理学研究科・大学院生
黒須 直樹・東北大学理学研究科・大学院生
米倉 光・東北大学理学研究科・大学院生
平田 京輔・東北大学理学研究科・大学院生
佐藤 大祐・海洋研究開発機構海域地震火山部門・研究員
青山 都和子・東京大学地震研究所・大学院生
藤井 信宏・マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図

